



平成30年2月13日

各位

会社名 株式会社 ラックランド  
代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎  
(コード番号：9612 東証第一部)  
問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 健太郎  
(TEL：03-3377-9331 (代表))

## 平成29年12月期 通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成29年2月14日に公表いたしました、平成29年12月期通期(平成29年1月1日～平成29年12月31日)の連結業績予想と本日公表の同期間の実績値に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成29年12月期 通期連結業績予想数値と実績値との差異 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 37,000	百万円 1,170	百万円 1,200	百万円 710	円 銭 92.77
実績値(B)	31,110	857	960	677	89.08
増減額(B-A)	△5,889	△312	△239	△32	△3.69
増減率(%)	△15.9	△26.7	△20.0	△4.6	△4.0
(ご参考) 前期通期実績 [平成28年12月期]	34,954	1,086	1,110	709	90.89

#### 2. 差異の理由

平成29年12月期の連結売上高は、計画どおり順調に推移しておりましたが、年内引き渡し予定であった受注額40億円超の大型案件のほか複数案件に関して、工事内容の大幅な変更・追加による工期延長で引き渡しが出来ず先送りとなったことから、期初計画を下回る結果となりました。

連結営業利益および連結経常利益は、連結売上高の計画比減、また当社グループの経営課題である「利益基盤の構築」実現のための施策の一つであるM&Aの加速により、M&A関連費用の計画比増が影響したことから、期初計画を下回る結果となりました。

以上のとおり、平成29年12月期の通期連結業績は計画を下回りましたが、受注案件の減少や粗利率の低下といった将来の業績に影響する事由ではありません。

当社グループは、確たる利益基盤の構築に向け、引き続き企業内職人の育成および関連業種企業のM&Aを積極的に行い、これまで弱かった分野の強化や技術者の補充を図り、またグループ間シナジーによる制作コストの削減を通じて、グループ全体として粗利率の安定と向上に努めてまいります。

以上